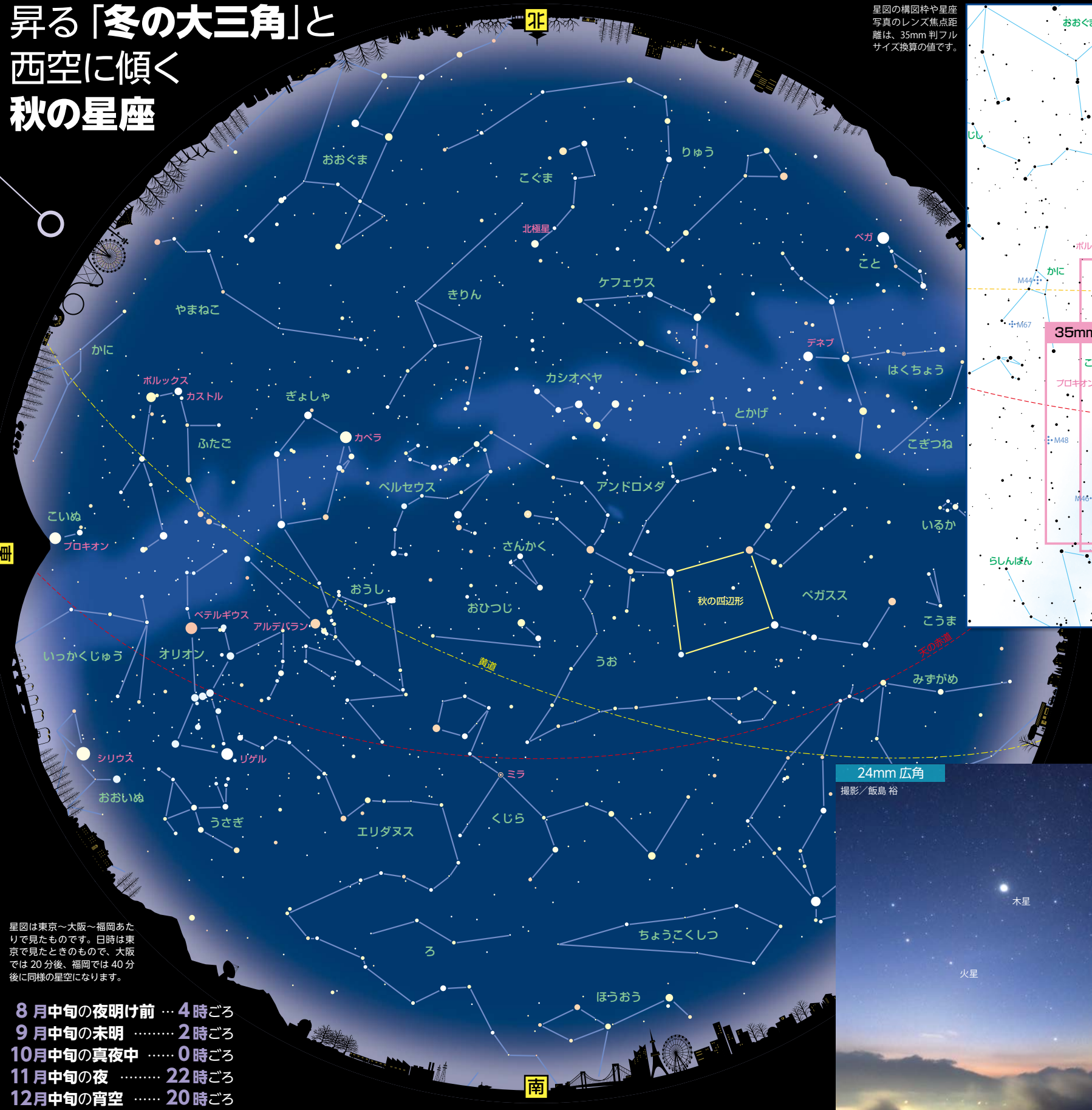


昇る「冬の三大角」と西空に傾く秋の星座

東

北

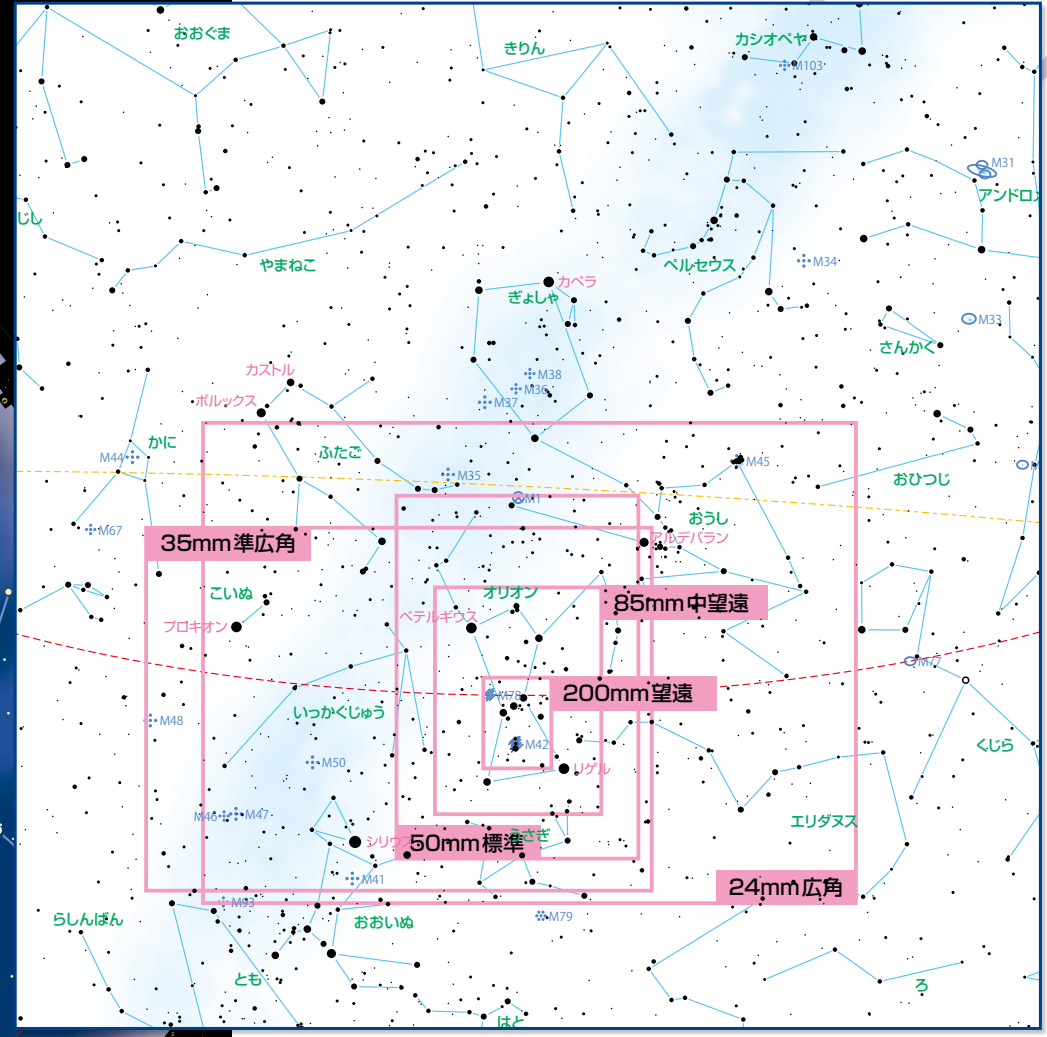
南



星図は東京～大阪～福岡あたりで見たものです。日時は東京で見たときのもので、大阪では20分後、福岡では40分後に同様の星空になります。

- 8月中旬の夜明け前 …… 4時ごろ
- 9月中旬の未明 …… 2時ごろ
- 10月中旬の真夜中 …… 0時ごろ
- 11月中旬の夜 …… 22時ごろ
- 12月中旬の宵空 …… 20時ごろ

星図の構図や星座写真のレンズ焦点距離は、35mm判フルサイズ換算の値です。



昇るオリオン座と「冬の三大角」

冬を象徴する星座はオリオン座ですが、「夏のオリオン」とも言われるように、夏真っ盛りの8月中旬の夜明け前には、東の空にこいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスを伴って昇ってきます。数ある星景写真テーマの中でももっとも美しく迫力あるシーンと言えるでしょう。涼しい高原で、藍色から橙色への美しいグラデーションの中を昇るオリオン座と「冬の三大角」

24mm 広角

撮影/飯島裕



を狙いたいところです。24mmの広角レンズの構図で、地上と冬の三大角、ふたご座までを入れることができます。35mm 準広角レンズなら、昇るオリオン単体を迫力ある姿で捉えることができます。

ペルセウス座流星群のころに早朝まで粘れば、この光景を撮影できます。秋から冬になってしまうと、もっと早い夜の時間帯に昇るようになり、薄明色の美しい背景のオリオン座は見られなくなってしまいます。9月になるとすでに難しくなり、このような撮影チャンスは短期間で終わってしまうので、機会を見つけてぜひ狙ってみてください。